

# 再評価調書

No. 1

事業名	林道事業	地区名	奥越線 (大野市下打波～大野市朝日前坂)			
事業目的						
効率的な林業経営や森林の有する県土保全、水源かん養等の公益的機能を高度に発揮させるため、広域的な森林を一体的に経営管理できる骨格的林道を整備する。						
全体事業内容						
全体延長 L=25,900m 幅員 W=5.0m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成元年度	平成 - 年度	平成2年度	平成26年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H20年度まで)	進捗率 (H20末)	残事業費 (H21以降残額)	備考
予 算 額		5,433,741	4,679,400	86.2%	754,341	
財源 内訳	国 庫	2,085,520	1,703,350		382,170	
	県	2,998,161	2,671,390		326,771	
	地元(市・町)	350,060	304,660		45,400	
費用対効果		1.85(総費用 78.5億円、総便益 145.3億円)				
事業の進捗状況	H20までの状況	延長 22,313m				
	H21以降残事業	延長 3,587m				
林業施策との関連						
<p>近年、外材の先行き不透明感から、全国的に国産材へ転換しつつあり、福井県においても合板、集成材などの大口需要先への木材供給が急がれている。</p> <p>こうした中、本県の林業施策である「木を伐って 木を使う」取り組みとして、施業地の団地化を行うとともに、作業道等と連携した路網の整備および大型機械による伐採・搬出作業の集約化など、木材生産の低コスト化を図り、合板や集成材工場等への安定出荷を推進しているところである。</p> <p>この実現のため、大型機械の搬入や大型トレーラが通行できる幹線林道を骨格とした路網整備が求められている。</p>						
関連事業						
(事業名)	(地区名)	(主要工種・事業量)		(進捗率)	(工期)	
コスト縮減の取組み						
<p>地形の急峻な区間では林道路肩の縮小などを行い、掘削土量や切取法長の減少によるコスト縮減を図っている。</p> <p>線形の見直しを行い、コスト縮減を図っている。</p>						
事業を休止した場合の影響						
林道が今後整備されなければ、間伐等の適正な森林整備や間伐材の有効な利用促進が図られなくなる。また、森林整備の遅れは災害発生の原因となる山地荒廃につながり、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されなくなる。						

# 再 評 価 調 書

No. 2

事業名	林道事業	地区名	大野・池田線 (大野市宝慶寺～池田町美濃俣)			
事業目的						
効率的な林業経営や森林の有する県土保全、水源かん養等の公益的機能を高度に発揮させるため、広域的な森林を一体的に経営管理できる骨格的林道を整備する。						
全体事業内容						
全体延長 L=22,000m 幅員 W=4.0～5.0m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成3年度	平成 - 年度	平成4年度	平成27年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H20年度まで)	進捗率 (H20末)	残事業費 (H21以降残額)	備考
予 算 額		4,434,000	3,794,237	85.6%	639,763	
財源 内訳	国 庫	2,048,044	1,715,368		332,676	
	県	2,200,576	1,938,489		262,087	
	地元(市・町)	185,380	140,380		45,000	
費用対効果		1.56(総費用 61.7億円、 総便益 96.8億円)				
事業の進捗状況	H20までの状況	延長 18,511m				
	H21以降残事業	延長 3,489m				
林業施策との関連						
<p>近年、外材の先行き不透明感から、全国的に国産材へ転換しつつあり、福井県においても合板、集成材などの大口需要先への木材供給が急がれている。</p> <p>こうした中、本県の林業施策である「木を伐って 木を使う」取り組みとして、施業地の団地化を行うとともに、作業道等と連携した路網の整備および大型機械による伐採・搬出作業の集約化など、木材生産の低コスト化を図り、合板や集成材工場等への安定出荷を推進しているところである。</p> <p>この実現のため、大型機械の搬入や大型トレーラが通行できる幹線林道を骨格とした路網整備が求められている。</p>						
関連事業						
(事業名)	(地区名)	(主要工種・事業量)		(進捗率)	(工期)	
コスト縮減の取組み						
地形の急峻な区間では林道路肩の縮小や道路幅員の縮小を行い、掘削土量や切取法長の減少によるコスト縮減を図っている。						
事業を休止した場合の影響						
林道が今後整備されなければ、間伐等の適正な森林整備や間伐材の有効な利用促進が図られなくなる。また、森林整備の遅れは災害発生の原因となる山地荒廃につながり、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されなくなる。						

# 再 評 価 調 書

No. 3

事業名	林道事業	地区名	越前南部線 (越前市春日野～南越前町山中)			
事業目的						
効率的な林業経営や森林の有する県土保全、水源かん養等の公益的機能を高度に発揮させるため、広域的な森林を一体的に経営管理できる骨格的林道を整備する。						
全体事業内容						
全体延長 L=17,500m 幅員 W=5.0m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成5年度	平成 - 年度	平成6年度	平成25年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H20年度まで)	進捗率 (H20末)	残事業費 (H21以降残額)	備考
予 算 額		5,423,000	4,194,740	77.4%	1,228,260	
財源 内訳	国 庫	2,711,500	2,097,370		614,130	
	県	2,494,137	1,906,550		587,587	
	地元(市・町)	217,363	190,820		26,543	
費用対効果		2.50(総費用 68.1億円、 総便益 170.7億円)				
事業の進捗状況	H20までの状況	延長 14,254m				
	H21以降残事業	延長 3,246m				
林業施策との関連						
<p>近年、外材の先行き不透明感から、全国的に国産材へ転換しつつあり、福井県においても合板、集成材などの大口需要先への木材供給が急がれている。</p> <p>こうした中、本県の林業施策である「木を伐って 木を使う」取り組みとして、施業地の団地化を行うとともに、作業道等と連携した路網の整備および大型機械による伐採・搬出作業の集約化など、木材生産の低コスト化を図り、合板や集成材工場等への安定出荷を推進しているところである。</p> <p>この実現のため、大型機械の搬入や大型トレーラが通行できる幹線林道を骨格とした路網整備が求められている。</p>						
関連事業						
(事業名)	(地区名)	(主要工種・事業量)		(進捗率)	(工期)	
コスト縮減の取り組み						
<p>地形の急峻な区間では林道路肩の縮小などを行い、掘削土量や切取法長の減少によるコスト縮減を図っている。</p> <p>残土の処理場を近くに確保しコスト縮減を図っている。</p> <p>線形の見直しを行い、コスト削減を図っている。</p>						
事業を休止した場合の影響						
林道が今後整備されなければ、間伐等の適正な森林整備や間伐材の有効な利用促進が図られなくなる。また、森林整備の遅れは災害発生の原因となる山地荒廃につながり、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されなくなる。						

# 再 評 価 調 書

No. 4

事業名	林道事業	地区名	劔ヶ岳線 (坂井市丸岡町山竹田～あわら市牛ノ谷)			
事業目的						
効率的な林業経営や森林の有する県土保全、水源かん養等の公益的機能を高度に発揮させるため、広域的な森林を一体的に経営管理できる骨格的林道を整備する。						
全体事業内容						
全体延長 L=23,130m 幅員 W=5.0m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成10年度	平成 - 年度	平成10年度	平成26年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H20年度まで)	進捗率 (H20末)	残事業費 (H21以降残額)	備考
予 算 額		4,726,000	2,829,000	59.9%	1,897,000	
財源 内訳	国 庫	2,363,000	1,414,500		948,500	
	県	1,890,400	1,131,600		758,800	
	地元(市・町)	472,600	282,900		189,700	
費用対効果		3.07 (総費用 52.1億円、総便益 160.1億円)				
事業の進捗状況	H20までの状況	延長 12,706m				
	H21以降残事業	延長 10,424m				
林業施策との関連						
<p>近年、外材の先行き不透明感から、全国的に国産材へ転換しつつあり、福井県においても合板、集成材などの大口需要先への木材供給が急がれている。</p> <p>こうした中、本県の林業施策である「木を伐って 木を使う」取り組みとして、施業地の団地化を行うとともに、作業道等と連携した路網の整備および大型機械による伐採・搬出作業の集約化など、木材生産の低コスト化を図り、合板や集成材工場等への安定出荷を推進しているところである。</p> <p>この実現のため、大型機械の搬入や大型トレーラが通行できる幹線林道を骨格とした路網整備が求められている。</p>						
関連事業						
(事業名)	(地区名)	(主要工種・事業量)		(進捗率)	(工期)	
コスト縮減の取組み						
<p>地形の急峻な区間では林道路肩の縮小などを行い、掘削土量や切取法長の減少によるコスト縮減を図っている。</p> <p>線形の見直しを行い、コスト縮減を図っている。</p>						
事業を休止した場合の影響						
林道が今後整備されなければ、間伐等の適正な森林整備や間伐材の有効な利用促進が図られなくなる。また、森林整備の遅れは災害発生の原因となる山地荒廃につながり、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されなくなる。						

# 再評価調書

No. 5

事業名	かんがい排水事業		地区名	兵庫用水 坂井市坂井町上兵庫ほか		
事業目的						
<p>本地区は、坂井平野の中央に位置する受益面積1,007haの穀倉地帯である。農業用水は主に九頭竜川鳴鹿大堰より取水し、昭和30～40年代に建設された幹線用水路で導水しているが、用水施設の老朽化に伴い維持管理および水管理に多大な労力を要している状況にある。このため、国営事業と一体的に本事業で幹線用水路のパイプライン化を行い、良質で安定した農業用水の確保と、自然圧を有効に活用した水管理の合理化を図り、低コスト高生産性農業を確立する。</p>						
全体事業内容						
農業用水路(パイプライン) 9.7km 水管理施設 1式 (受益面積 1,007ha)						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度		工事着手年度	完成予定年度
	平成10年度		平成15年度		平成11年度	平成22年度
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H20年度まで)	進捗率 (H20末)	残事業費 (H21以降残額)	備考
予 算 額		5,772,900	4,714,500	81.7%	1,058,400	
財源 内訳	国 庫	2,886,450	2,357,250		529,200	50%
	県	1,883,065	1,537,825		345,240	33%
	地元(市・農家)	1,003,385	819,425		183,960	17%
費用対効果		1.02 (総費用181.8億円 総便益187.2億円) 関連事業含む				
事業の進捗状況	H20までの状況	農業用水路 9.1km				
	H21以降残事業	農業用水路 0.6km 水管理施設 1式				
農業施策との関連						
<p>企業の農業の推進を図るため、生産基盤の基礎的条件である水利施設を整備する必要がある。</p>						
関連事業						
(事業名)	(地区名)	(主要工種・事業量)			(進捗率)	(工期)
国営かんがい排水事業	九頭竜川下流	農業用用水 54.8km 水管理施設 1式			46.1%	H11～H27
経営体育成基盤整備事業	三国井場2期	農業用用水 28.8km 客土 18.2ha			0.0%	H21～H26
コスト縮減の取組み						
<p>パイプライン基礎砂に三国港の浚渫砂を利用し、コスト縮減を図っている。(約17百万円の縮減に相当) 管水路掘削残土を他の公共工事に流用し、残土処理費用の縮減を図っている。(約44百万円の縮減に相当) 国営事業と併せた一体的な水管理システムにより制御機器のコスト縮減を図る。(約75百万円の縮減に相当)</p>						
事業を休止した場合の影響						
<p>国営事業で整備している幹線パイプラインと接続できず、下流への配水が不可能となり、事業効果が発現されない。また、用水施設の老朽化が進行することにより、維持管理や水管理に係る農家への負担が増大し、農業経営が圧迫される。</p>						

# 再 評 価 調 書

No. 6

事業名	農林漁業用揮発油税 財源身替農道整備事業		地区名	小浜中部地区 小浜市奈胡 ほか		
事業目的						
<p>本地区は、小浜市内で最も大きい農業生産団地である国富・今富地域および団体営農地開発事業で造成された樹園地により「福井うめ」等を生産している内外海地域からなり、この地域と既設農業施設(カンリ-エレベーター、野菜集出荷場、農産物直売所)を結ぶ基幹農道を整備し、農業輸送の向上を図るものである。</p>						
全体事業内容						
農道工 延長 5,290m(うち隧道工 L=608m) 幅員5.5m(7.0m)						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度		工事着手年度	完成予定年度
	昭和61年度		昭和61年度		昭和61年度	平成21年度
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H20年度まで)	進捗率 (H20末)	残事業費 (H21以降残額)	備考
予 算 額		3,634,890	3,109,890	85.6%	525,000	
財源 内訳	国 庫	1,817,445	1,554,945		262,500	1/2
	県	1,197,206	1,024,289		172,917	1/3
	地元(市・農家)	620,239	530,656		89,583	1/6
費用対効果		1.28(総費用 36.3億円、総便益 46.3億円)				
事業の進捗状況	H20までの状況	道路工4,682m、(隧道工 608m)				
	H21以降残事業	隧道工 608m				
農業施策との関連						
<p>小浜地区農村振興基本計画において集落等を基盤とした営農体制づくりを進めている。 本地域でも、複合型の営農体制と農林漁業の地域資源を活用した総合的な地域振興のため、流通体制・交流ネットワーク体制の強化が挙げられている。</p>						
関連事業						
(事業名)	(地区名)	(主要工種・事業量)			(進捗率)	(工期)
コスト縮減の取組み						
トンネル掘削土を近隣圃場に搬出し、有効活用することでコストの縮減を図る(約80百万円の縮減に相当)。						
事業を休止した場合の影響						
<p>本地区は、隧道工事(3年間継続工事)の最終年度を残すのみである。 本事業を休止した場合、内外海地域と主要農業施設・小浜ICとの流通は、小浜市街地を通る道路に依存する状態となり、農業生産物の安全で迅速な輸送が阻害される。</p>						